※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１１

令和５年度　芸能文化科

教科	芸能文化	科目	舞台映像技術 （舞台美術）	単位数	２単位のうちの １単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・舞台美術の仕事についてスライド写真等を使って紹介します。実際のＴＶ番組・ＣＭのセットを見て現場ではどのようなことが行われているのか理解を深めてください。
・昔ながらの「寸・尺・間」といった長さの単位が使われている現場もありますので、尺貫法にも理解を深めてください。
・鉛筆を用いて「ラフスケッチ」を描くことや「平面図」「パース画」の制作をします。基本的な技術を身につけるため、なぞり書きの課題を用いて練習します。
・１年間の総仕上げとして、オリジナルのＴＶ番組・ＣＭセットの１消点パース画（１点透視図）を制作してもらいます。可能であれば、２消点パース画（２点透視図）にもチャレンジを。

２　学習の到達目標

（１）ＴＶ番組やＣＭのセットの仕組みについて理解することを目標とする。
（２）自分のアイデアをまずラフスケッチで表現し、その平面図やパース画を制作できるようになることを目標とする。
（３）そのために必要な様々な技法について実習を通して習得することを目標とする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・フリーハンドおよび定規を使って適切な線を描くことができる。 ・平面図やパース画を制作する際の基本的な約束ごとについて理解し、実践できている。	・自分の独創的なアイデアを平面図やパース画で表現することができる。	・自ら進んで様々な技法を身に付けようと努力している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
前期	舞台美術の仕事	番組のセット CMのセット イベントのセット	a: 様々なセットの仕組みについて理解できている。 b: そのセットが制作された狙いについて考える。 c: 舞台美術の仕事内容について積極的に理解を深めようとしている。	提出物	提出物	授業観察
	平面図を描いてみよう	フリーハンドの練習 定規を使っての練習 部屋・家具のサイズ測定 平面図を描く際の約束ごと 自分の家の部屋の平面図 理想の部屋の平面図	a: 部屋・家具のサイズを正しく測定し、適切な縮尺で平面図を描くことができる。その際、約束ごとが理解できている。 b: 自分のコンセプトに基づいた理想の部屋を平面図に表すことができている。 c: 平面図を制作する技法を積極的に習得しようと努めている。	作品の提出	作品の提出	授業観察
後期	鉛筆に慣れよう	線の引き方の練習 立体を描く練習 インテリア小物・家具を描く練習	a: パース画を制作する際に必要となる様々な基本的技法を習得している。 b: 物体を立体的に紙の上に描くための技法を理解し表現できる。 c: パース画を制作する技法を積極的に習得しようと努めている。	作品の提出	作品の提出	授業観察
	パース画を描いてみよう	1点透視図法と2点透視図法など オリジナルのセットの構想とそのパース画の制作 パース画に着色をする 作品の合評	a: 1点(2点)透視図法が正確に描けている。 b: 自分のコンセプトに基づいたセットをパース画に表すことができている。 c: 合評で積極的に自分の意見を発言しようとしている。	作品の提出	作品の提出	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度